



2018年7月5日  
小網代ヨットクラブ レース委員会  
野村 政司

## 2018年7月小網代フリートレース 別途帆走指示書

### 1. 適用規則

RRS 2017-2020、本帆走指示書、レース公示  
S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 帆走指示書  
2018年小網代フリートレース公示  
外洋特別規定 2018-2019 付則B インショアレース用ならびに OSR 国内規定

### 2. 参加者への通告

S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 帆走指示書に準ずる。

### 3. 出艇申告書の提出

- a) KFR参加艇のみ出艇申告は小網代フリートレース委員会へ連絡とレースフィー振り込みを持って行うものとする。  
ダブルエントリー艇は、小網代フリートレース委員会へ連絡を持って行う。
- b) ダブルエントリー艇の出艇申告は、S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 の公示、帆走指示書に従わなければならない。
- c) 出艇申告をしたにもかかわらずスタートしなかった艇は、その艇の責任者が速やかにレース本部に届ける事。

### 4. 海上確認

レース艇は10時40分までに、L旗を掲げた本部艇の後方を自艇の右舷を本部艇に見せて通過し(安全のため厳守すること)、確認を受けなければならない。確認時には必ずセールナンバーを表示する事。

### 5. ライフジャケットの着用

レース艇の全乗員は出港から入港までの間ライフジャケットを着用していなければならない。  
☆着用するすべてのライフジャケットを事前に点検すること。特に膨張式の場合は空気を入れて膨らませてみる事。

### 6. レース艇の認識

KFR参加艇は、全て通常のKFRと同じくJSAFレース旗を掲揚しなければならない。  
S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 にダブルエントリーした艇は同帆走指示書に従ったフラッグも掲揚しなければならない。

## 7. レース日程

2018年7月15日(日)

10:45 第1グループ予告信号(KFR、シーボニアレーティングクラスA、Bの予定)

第2グループ(シーボニアレーティングクラスCの予定)は第1グループのおおむね10分後のスタート予定

第3グループ(IRC・ORCクラスの予定)は第2グループのおおむね10分後のスタート予定

(時刻はあくまで目安であり、フラッグが優先される)

## 8. コース

スタート→長者ヶ崎沖マーク(反時計回り)→フィニッシュの約10マイル。

\*長者ヶ崎沖マークのおおよその位置

北緯35度15分22秒 東経139度33分00秒

\*亀城礁灯台の東側を通過してはいけない。佐島沖定置網の間は通過してはならない。

## 9. マーク

黄色膨張式のブイを使用する。

(秋谷沖マーク 白帯(印刷文字あり)はKFRコースでは使いません)

秋谷沖及び長者ヶ崎沖で運営艇を代替マークとする場合、M旗と同時にクラス旗を掲揚する。両マークでM旗を掲揚した運営艇を代替マークとする場合錨泊していない場合もある。

## 10. スタート・ライン

スタート・ラインは、本部艇のJSAF旗を掲揚したマストまたはポールとリミットマークの見通し線とする。最後のスタートの10分後にスタート・ラインは撤去される。スタート・ラインが撤去される前にスタートできなかった艇は審問無しにD.N.S.とされる。

## 11. フィニッシュ・ライン

フィニッシュ・ラインは、本部艇または公式運営艇のブルー旗掲揚のポールまたはマストとマークの間とする。

## 12. スタート方法

a) RRS規則26に従ってスタートは行われる。

### 【参考】

予告信号(5分前)	クラス旗掲揚	音響信号1声
準備信号(4分前)	規定のフラッグ掲揚	音響信号1声
1分信号(1分前)	規定のフラッグ掲揚	長音1声
第1グループ・スタート	クラス旗降下	音響信号1声

b) 予告信号の発せられていないクラスの艇はスタート・エリアから離れ、予告信号の発せられているクラスの艇を避けなければならない。(厳守)

\* 参考:I旗が準備信号として掲揚された場合:RRS規則30.1(I旗規則)を適用する。

\* スタート信号前の1分間に、艇体、乗員またはその装備の一部でもスタート・ラインまたはそのどちらかの延長線のコース・サイドにある場合には、その艇はスタートする前に、スタート・ラインの延長線を横切り、プレ・スタート・サイドまで帆走しなければならない。

### 13. 個別のリコール

- a) 個別のリコール艇があった場合、音響信号1声とともに、X旗を掲揚する。X旗はリコール艇のすべてが、スタート・ラインの延長線のプレ・スタート・サイドに完全に入るまで、またはスタート信号後4分後までのうち早い方まで掲げられる。リミットマーク付近の運営艇においても同じ信号が発せられる予定だが、本部艇により発せられる信号を正規のものとする。
- b) RRS 30.1 の違反については、OCSに代わる罰則として、5%のタイム・ペナルティーが課せられる。

### 14. ゼネラル・リコール(RRS規則29.2の変更)

ゼネラル・リコールの場合は、音響信号連発とともに第1代表旗を掲揚する。(13項と同じくサービスとして運営艇〔複数〕より信号が発せられる予定。運営艇の信号は音響信号のみの場合もある。本部艇の信号が正規の信号である。)

第1代表旗はスタート信号後4分まで掲げられる。

ゼネラル・リコールになったクラスの新たなスタートは、1番最後に繰り下げられる。ゼネラル・リコール後の再スタートは運営上支障がない限り5分間隔で行うので、予告信号(クラス旗の掲揚)に注意すること。

### 15. コースの短縮

S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 帆走指示書に準ずる。

### 16. タイム・リミット(RRS規則35の変更)

全艇15:00とする。15:00までにフィニッシュしなかった艇はD.N.F.とされる。

### 17. 帰着申告

フィニッシュをもって帰着申告とする。スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかにその艇の責任者がレース本部に連絡する事。

★海上にてレースが中止又は延期になった場合、各艇は帰港後速やかにレース本部に帰着申告をしなければならない。シーボニア以外へ帰港した艇は電話でも受け付ける。艇名、連絡者名、艇体乗員の状態を報告すること。(厳守)

### 18. VHFの使用

運営には国際VHF72チャンネルなどを使用する事がある。聴取することを制限しないが非常時以外はレース艇から運営艇への連絡には使用しない事。(レース本部への電話を利用)

リコール艇の読み上げなども行うがあくまでサービスであり、聴取できない事、時間的遅れなど救済の要求とはしない事。

### 19. レースの成立

トップ艇のフィニッシュをもって成立とする。

### 20. 失格に代わる罰則

S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 帆走指示書に準ずる。

### 21. 抗議(救済の要求)

S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 帆走指示書に準ずる。

### 22. 成績の算出

KFR 2018 公示に準ずる。

23. レース本部、大会関係舟艇の識別

S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 帆走指示書に準ずる。

24. 責任の所在

レース参加艇の乗員および艇体の安全若しくは事故(死亡・傷害・沈没・損傷等)については、その責任は全てレース参加艇が負うものとし、主催者ならびに大会関係諸団体は、その責任を一切負わない。

25. 環境責任、メディア、画像および音声

S.Y.C.相模湾オープンヨットレース 2018 帆走指示書に準ずる。

26. 安全規定(他船について)

レース海面並びに付近で操業中の漁船、遊漁船には十分注意し、付近を通過する時は十分な距離を空ける事。

SYC 相模湾オープンヨットレース公式ページ

<http://sagamiwan-open.net>

小網代ヨットクラブレース KFR ページ

<http://koaziroyc.jp/Race.html>

以上